

新型コロナウイルス感染症防止対策による臨時休業に関わる生活指導上のお願い

5月の温かい陽気の訪れとともに、今年もツバメが校舎の壁に巣を作り始めました。日頃より本校の教育活動にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、先日のガイダンス日には、多くの子どもたちが学校を訪れました。久しぶりに校庭に響く子どもたちの声に、教職員が元気を分けてもらった気分でした。学校では、子どもたちが安全に登校できるような見守りを計画したり、検温のお願いや着マスクの啓発を行うことで感染症予防を行ったりして、安全・安心な環境を整えようと努めています。ガイダンス日の子どもたちの行動からは、各家庭でも様々な対策を講じていただいている様子が伝わってきて、地域、家庭、学校の「子どもたちの安全」に対する願いは一緒であると再認識することができました。

しかし、子どもたちが外にいない環境に慣れてきた運転手が、かなりの速度で車を運転し、歩行中の子どもの横を危険な速さで通過するなど、ヒヤリとする状況も見られました。学校でも繰り返し指導いたしますので、ご家庭においては今一度子どもたちへお話しいただくとともに、これまで以上に子どもたちへの見守り活動をお願いいたたく、下記のとおり「生活指導上のお願い」としてお知らせさせていただきます。

記

1：登下校における児童の安全に関するお願い

学校では子どもたちがガイダンス日を利用するために外出する時間に合わせて、通学路で特に危険と考えられる場所に教職員を配置しています。しかし人員に限りもあるため、全ての場所に配置できている状況ではありません。事故や不審者から子どもたちを守るために、子どもたちがガイダンス日を利用するために外出している時間に、家の前や周辺を見守っていただくなど、可能な範囲での見守り活動をお願いいたします。また、1年生のガイダンス日の利用においては、引き続き、原則大人の方の引率をお願いいたします。

2：学校利用時におけるマスク着用に関するお願い

感染症防止の観点から、人が集まる場所を利用する際には、マスクを着用するように、学校からもお願いしているところです。教職員もマスクの着用を徹底してまいりますので、子どもたちもマスクを着用した上で登校するように、ご協力をお願いいたします。

また、前回のガイダンス日には、児童が帰宅した後の校庭に、複数のマスクが落ちていました。ものを大切に扱う観点や、公衆衛生面などを考慮し、使用したマスクは自宅で破棄するようにお願いいたします。

尚、次回ガイダンス日には、国より学校に支給されましたガーゼマスクを児童へ1枚配付しますのでご活用ください。

この先、来週25日よりマスクを着用していない児童に関しては昇降口でマスクを渡します。数に限りがあるため使用していない新しい同程度マスクを返却していただきますのでご理解ご協力をお願いします。

(※新しい同程度のマスクとは、値段や機能面ではなく、素材としてとらえてください。例として、不織布マスクを借りた場合、新しい不織布マスクを返却してください。その際、ワイヤーの有無や本数、大きさや構造面などは関係ないものとして考えてください。)

3：健康観察カードへの確実な記入のお願い

感染症法の定義では、37.5℃以上を発熱、38℃以上を高熱とし、発熱以上が確認されている場合は、人との接触を避けるように指示しています。この指示に伴い、学校を含む公共施設などを開放する際には、利用する人（学校では主に教職員や保護者、子どもたち）の体調を確認する必要があります。この観点からも、健康観察カードは重要な役割を果たすものとなりますので、健康観察カードにつきましても、今後も保護者の方が確実にご確認いただけますようお願いいたします。

また、今後の予定として、5月25日、26日のガイダンス日には、主に6月に使用する「健康観察カード(6月分)」を配付します。現在使用中の健康観察カードとともに、臨時休業明けに確認のため、ご提出いただく予定です。提出日などにつきましては、臨時休業が開ける直前に「登校時の持ち物」として詳細をお知らせいたしますので、今後のお知らせも、引き続きご確認いただけますようお願いいたします。

これからも子どもたちを取り巻く環境を、より安全なものへと向上させるべく指導して参りますので、保護者の皆様におかれましても、ご協力いただけますようお願いいたします。

また、上記内容にご不明な点やご質問等がございましたら、下記問い合わせ先までご連絡ください。

問い合わせ先：立川市立 第一小学校 電話番号：042-523-4428
副校長 小林 錠 生活指導主任 鈴木 歓人